

地域包括ケアシステムの中で医療 MaaS を軸とした
新たな医療提供モデルを構築するための課題の探求

田口実里^{*,1)}、檜原理恵¹⁾
¹⁾聖隷クリストファー大学

1. 研究目的

本研究の目的は、地域包括ケアシステムの中で医療 MaaS を軸とした新たな医療提供モデルを構築するうえでの医療提供側の課題を探求することである。

2. 研究方法

本研究は、半構造的面接法による質的記述的デザインで実施した。研究参加者は、医療 MaaS の導入に携わっている、または地域で導入したいと検討している看護管理者とし、この目的に合致する施設が現在は少ないため、関わっている方の紹介を介しての合目的的サンプリングにより研究参加を依頼した。インタビューガイドに沿って、その地域の状況と自施設の役割、現在考えられる課題、課題に対する対応や取り組みの実際等について 1 回 60 分程度のインタビューを実施し、同意のもと IC レコーダーに録音し逐語録を作成した。

データ分析方法では、インタビューデータから作成した逐語録をよく読み、医療 MaaS の活用や課題に関する文脈を抜き出し、抜き出した文脈を意味内容が損なわれないようにコーディングした。さらに同じ意味内容のコードを帰納的に整理し、サブカテゴリー化、カテゴリー化し、研究目的に沿ってコアカテゴリーを見出した。

倫理的配慮として、本研究は聖隷クリストファー大学の倫理審査委員会の承認を得たうえで実施した（承認番号：24018）。

3. 研究結果

研究参加者は 4 名であり、51～62 分の半構造的インタビューを実施した。4 名の逐語録より、245 コードを抽出し、そこから 31 のサブカテゴリー、11 のカテゴリー、3 つのコアカテゴリーが抽出された。コアカテゴリーを<>、カテゴリーを【】で示す。結果として<医療 MaaS 導入のビジョン>として、【オンライン診察による効率性】と【組織の目的に沿った医療 MaaS の活用案】【人口減少による地域医療の新体制を検討】し【キャリアデザインの 1 つとして地域で活躍する看護師像】を目指すことが見いだされた。<導入のビジョンに対する課題>として【活用案を実施するための課題】として財源確保、情報連携体制の構築などがあげられるとともに【地域住民と行政の理解が不可欠】であることが示された。<医療 MaaS 導入と運用に向けた戦略>として【看護師の新しい人材確保・活用法】を計画し【運用に欠かせない管理者のサポート体制】【導入を成功するために段階に応じた戦略】を立てるとともに【人口減少による新たなマンパワーの活用案を検討】し【医療 MaaS 導入と並行しての人材配置・人材育成】を進めていることが明らかとなった。

4. 考察

この結果から、研究参加者はそれぞれが所在する地域の特性や地域住民の状況を深く分析し、現状から今後起きうる問題に対し、医療 MaaS の機能を効果的に対応できるビジョンが明確であった。また、人口減少から想定される労働力の減少により、どのように人材を確保しつつ効率的な組織機能の運用が求められるかも、その組織単独ではなく地域の中で機能する存在であることを前提として、課題を整理し、戦略の 1 つの手段に医療 MaaS の活用をプラットフォームに据え、複数の方法を検討していた。

5. 結論

本研究の結果から、医療 MaaS の活用とそのための課題として、11 カテゴリー、31 のサブカテゴリーが抽出され、導入のビジョンとそれに対する複数の課題と導入・運用にむけた具体的な戦略が見いだされた。

倫理審査	■承認番号（ 24018 ） □該当しない
利益相反	■なし □あり（ ）